



おうちのオーブンで  
かんたんに陶芸ができる!



ブローチや箸置き  
お皿が作れます

# オーブンねんど



お家のオーブンで簡単に陶芸作品が作れるねんどです。

ブローチやアクセサリ、箸置き、お皿などが作れます! コート剤を塗れば食器として使えます!

自分で作ったもので、生活をかわいく彩りましょう!

## ～ 商品紹介 ～

こちらの商品は全国のダイソー店舗で購入いただけます。



オーブンねんど ブラウン 120g  
¥100(税込¥110)

ナチュラルなテイストの作品に  
ぴったりです。



オーブンねんど 白 120g  
¥100(税込¥110)

彩色する際は、色がきれいに映えます。



オーブンねんど 黒 120g  
¥100(税込¥110)

シックな雰囲気になります。



オーブンねんど用 コート剤 20ml  
¥100(税込¥110)

コート剤を塗ると光沢感が出て、防水加工になります。水に濡れる作品(食器など)には、必ずご使用ください。

## ⚠ 注意(ちゅうい)

- 粘土やコート剤は食べ物ではありません。口の中には絶対に入れないでください。
- 粘土やコート剤は誤飲・窒息の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- 粘土の使用により、かゆみやかぶれなどの症状が出るなど体質的に合わない場合は、すぐに使用をやめてください。症状が改善しない場合は医師にご相談ください。
- 手・指にキズや湿疹がある時は、粘土をご使用しないでください。
- 粘土に触れた手で、万一目や鼻、口などに触れた場合は、きれいな水で十分に洗ってください。使用後は石鹸などで手を洗ってください。

## <オープンねんど使用上の注意>

- 粘土は他の種類の粘土と混ぜて使わないでください。
- 粘土は乾燥しやすいです。余った粘土はラップで包んで、密閉できるポリ袋や容器などに入れ乾燥させないように保存してください。完全に固くなってしまった粘土は、使用できません。
- 粘土が乾燥して少し固くなってしまった時は、水で濡らし軽く絞った布で包んで1日以上置いてください。柔らかくなりすぎた場合は、よく練ってから使用してください。
- 粘土に水滴が付いている場合がありますが、品質上問題はありません。

## ～基本のつくりかた～

### STEP 1 成形



粘土が少し固いときは、水を少しずつ加えて練ろう！

粘土を使う分だけ袋から出して、手で軽く練ってから好きな形を作ります。

たたらづくりと粘土のくっつけ方は「いろいろなつくりかた」をご確認ください。※粘土は乾燥しやすいです。余った粘土はラップで包んで、密閉できるポリ袋や容器などに入れて保存しましょう。

### Point

- 作業をしている時に粘土にヒビが入ってきたら、水をつけた指で表面をならしてください。
- 使用するオープンに入る大きさのものを作りましょう。

## STEP 2 乾燥



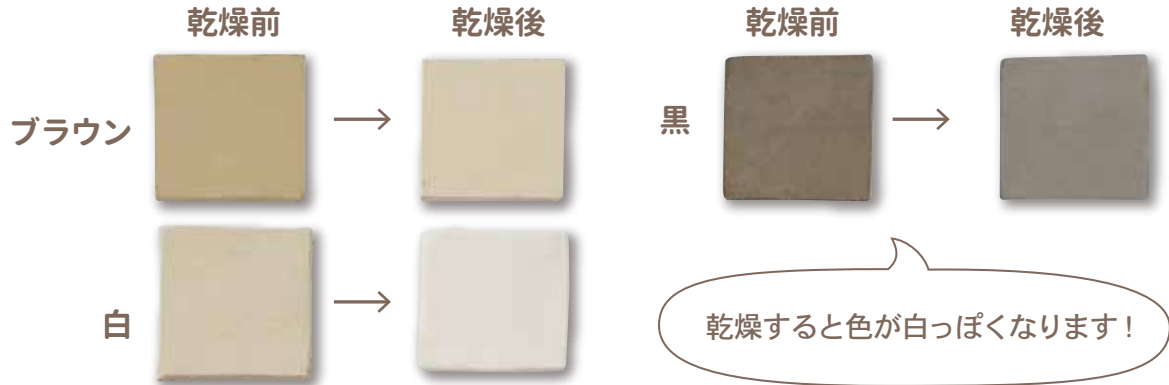
風通しの良い室内で1日以上自然乾燥させます。

【目安】小さめの作品：1～2日

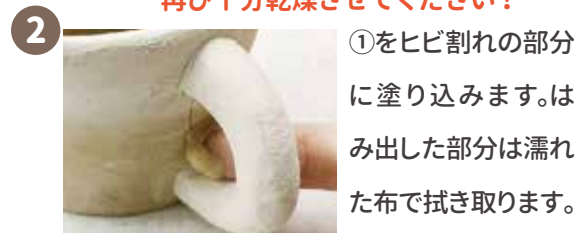
中ぐらの作品：3～5日

大きめの作品：7日程

※ひび割れの原因になるので、しっかり乾燥させてください。上記の日数は目安です。環境によっても乾燥時間は異なります。



### 作品にヒビ割れができてしまったら ...



### Point

- 網の上に乗せて乾燥させると、均一に乾燥させることができます。網がない場合は、作品をひっくり返して、全体的に乾くように乾燥させてください。
- 乾燥後は彫刻刀で削ったり、紙やすりで表面をなめらかにすることができます。

## STEP 3 焼成



時間を長めに焼くと、強度が増します！

- 1 オープン内の天板の上にアルミホイルを敷き、作品同士の間隔を空けて置きます。
- 2 温度設定160～180℃で約30分焼きます。様子を見て、焼きが足りない場合は10分ずつ時間を延長しましょう。その際に向きを変えたり、裏返したりするとムラなく焼けます。

**焼成後は粘土が非常に熱くなっていますので、冷ましてから取り出してください。**

砂をまぶした  
ような柄になる

**× NG** 色が変わらず割れやすい



白

ブラウン

黒

**○ OK** 色が少し濃くなる



白

ブラウン

黒

#### 使用できる機器

オーブン	○	温度調節が可能なもの(電気・ガスどちらの機能でも可能)。
オーブン機能つき 電子レンジ	○	温度調節が可能なもの。

#### 使用できない機器

温度調節のできないオーブン ×    オーブン機能の無い電子レンジ ×    オーブントースター ×

### Point

- オーブンの種類や作品の大きさによって、焼成時間や焼色は多少異なります。
- 乾燥と焼成で約10%ほど縮みます。
- 表面が焦げる場合は、アルミホイルを軽く上にかぶせると焦げにくくなります。かぶせることにより、焼成時間も変わりますので、焼き加減を見ながら調整してください。
- 焼成して細かいヒビが入ってしまった場合は、硬いヘラや割り箸などでヒビの上をなぞりヒビを埋めてからSTEP4(彩色・コーティング)に進んでください。

## ⚠ 焼成時の注意事項

- 必ず100~180℃の温度設定のできるオーブンで焼成してください。温度調節のできないオーブンやトースターは温度が上がり過ぎてしまい、発煙、発火する恐れがあります。
- 焼成中は十分な換気を行い、オーブンの側を離れないでください。
- 小さなお子様と一緒に作品を作る際は、必ず大人の方が焼成を行ってください。
- 焼き上がった作品は非常に熱くなっておりますので、火傷には十分に気をつけてください。

彩色・コーティングしない作品はここで完成!

※食器など水に濡れる作品は耐水性をつけるためSTEP4に進みましょう!

## STEP 4 お好みで彩色・コーティング

アクリル絵の具が  
おすすめ!



- 1 焼成後よく冷ました粘土に、絵の具で彩色します。**※水性画材を使用した場合は、市販のニスで色止めをしてからコート剤を塗ってください。**
- 2 絵の具が完全に乾いたら、コート剤(別売り)をお皿に適量移し替えて、筆で塗っていきます。1回塗るごとに乾燥させます。数回繰り返すとより光沢感がでます。**※使い終わった筆は、乾燥するとコート剤が固まってしまうのですぐに水で洗い流してください。**
- 3 自然乾燥しベタつきがなくなったら、温度設定100℃のオーブンで15分~30分加熱します。

### 彩色可能な画材

アクリル絵の具



サインペン



水性画材(ニスを塗る)



クレヨン(ニスを塗る)



### Point

- コート剤を塗ると防水加工され、食器として使えるようになります。光沢感が出るので、ニスとしてもお使いいただけます。
- 水性画材は滲んでしまうため、市販のニスで色止めをしてからコート剤を塗ってください。



### コート剤使用時の注意事項

- コート剤の匂いは残る場合がありますが、焼成後、時間の経過とともに消えます。
- 手や衣類などについた場合は、水で十分に洗い流してください。
- 万一口や目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流し医師の診断を受けてください。
- 使用後はフタをしっかりと閉めて、お子様の手の届かないところで保管してください。
- 使い終わった筆は、水でしっかりと洗ってください。コート剤が残っていると固まってしまうます。
- コート剤はオーブンねんど専用です。それ以外の用途には絶対に使用しないでください。

## ⚠ 食器として使用する際の注意事項

- 柔らかいスポンジで優しく洗ってください。たわしや荒いスポンジを使用すると、コート剤が剥がれる可能性があります。
- オーブン、電子レンジ、食器洗い機などのご使用は避けてください。
- コンロなどの直火にかけることはできません。IH調理器具も含め加熱器具類には使用できません。
- 使用頻度により、耐水効果が薄れたり、コート剤が剥がれてくる場合があります。その際はニスや画材が溶出する前に再度【STEP4】のコーティング作業を行ってください。

完成！

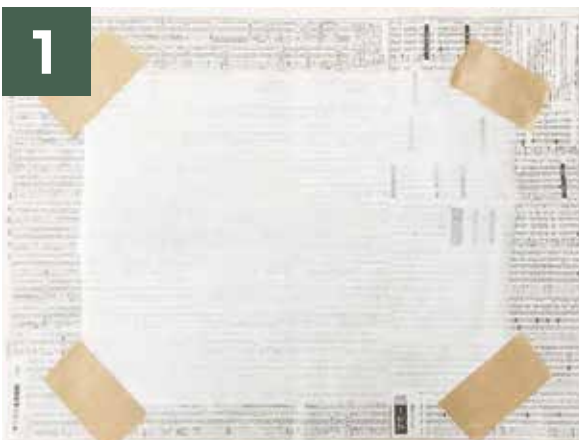
## ～いろいろな作り方～

### たたらづくり

～平たい板状のものから色々なものがつくれます～  
【アクセサリー、お皿、コースター、カップなど】

用意するもの：

新聞紙、ガーゼ(またはクッキングシート)、丸棒(またはラップの芯)、  
たたら板(同じ厚みの割り箸や本)、デザインナイフ(ヘラ)、竹串(必要に応じて)



作業台を汚さないように新聞紙を敷き、その上にガーゼ(もしくはクッキングシート)を敷きます。※クッキングシートは、動かないようにガムテープで新聞紙に留めましょう。



粘土の両脇にたたら板をセットし、伸ばし棒で均一な厚さになるように伸ばします。  
※たたら板の代わりに、同じ厚みの割り箸や本などでも代用可能です。厚みの目安は3～5mm程です。

3



デザインナイフ(もしくはヘラ)で好きな形に切ります。型紙を用意するとキレイに切れます。**※デザインナイフの取り扱いには十分注意してください。デザインナイフで机を傷つけないように気をつけてください。**

4



余分なねんどを外し、水を付けた指で切り口をなめらかにして整えます。竹串で模様をつけたら、穴を開けましょう。**※乾燥と焼成で10%ほど小さくなるので、アクセサリーなど丸カンを通す穴は少し大きめに開けましょう。**

### Point

- アクセサリーなど丸カンを通す作品は、たたら板の厚みで伸ばした後、伸ばし棒で2mm程の厚さになるように伸ばしてください。

## ねんどのくっつけ方

～コップの取手もこの方法でつけられます～

1



粘土同士の接着面に竹串などでキズをつけて水でくっつけます。

2



たたら作りをする場合は、くっつけた後に丸棒で伸ばします。たたら作りしない場合は、ヘラや指でつなぎ目をならします。

### Point

- しっかりくっついていないと取れてしまう可能性があるため、しっかりとくっつけましょう。

# たたらづくりでコップ・小物を作ってみよう！

たたらづくりの技法を使って作ります。たたらづくり②までを行ってください。

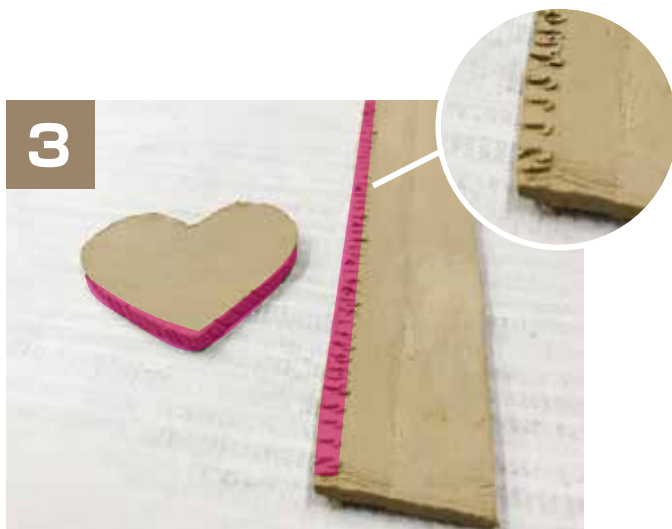


底になる部分を切ります。型紙などを用意すると切りやすいです。



側面になる部分を長方形に切ります。

※コップ・小物の高さはお好みで調整してください。



1の側面と2の表面の端(粘土の厚み幅程度)に竹串でキズを付けていきます。



3でキズをつけた部分に水をつけ、2のパーツを1の形状に沿って接着させていきます。ねんどが余る場合は切ってください。



長方形のつなぎ目に竹串でキズをつけて水で張り合わせます。



指でつなぎ目をならします。内側も同様にならします。※内側の指が届かない部分は割り箸やへらなどで、ならしてください。



7



蓋を作る場合は、底面より少し大きめに切って、作成します。

8



取手部分を作り、しっかりくっつけます。



基本の作り方の【STEP2】から同様に乾燥→焼成→コーティングしたら完成です！同じ作り方でマグカップも作れます！

完成！！

～ 作品例 ～



アクセサリー



おきもの



箸置き



マグカップ



小皿



コースター

いろいろ作ってみよう！！